

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月9日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社マルタイ

コード番号 2919

URL <https://www.marutai.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 川島 英広

問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長

（氏名） 松岡 悦雄

TEL 092-807-0711

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,094	5.8	228	△50.2	248	△48.2	166	△48.4
2022年3月期第2四半期	3,868	△1.1	460	△17.2	479	△15.5	321	△1.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	86.88	—
2022年3月期第2四半期	168.48	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,874	9,076	70.5
2022年3月期	13,186	9,021	68.4

（参考）自己資本

2023年3月期第2四半期 9,076百万円

2022年3月期 9,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 （予想）	—	—	—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	4.4	300	△54.5	300	△58.9	200	△59.3	104.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,922,000株	2022年3月期	1,922,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	11,200株	2022年3月期	11,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,910,800株	2022年3月期2Q	1,910,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	6
(セグメント情報)	6
3. 補足情報	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置が3月下旬に全面解除され、新規感染者数が減少するのに伴い人流が活性化し、緩やかな回復基調が続いておりました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や歴史的な円安の進行により、エネルギー価格や原材料価格が高騰し、物価上昇が顕著となり、さらには7月上旬以降、新型コロナウイルス変異株の爆発的な感染再拡大が起きるなど、景気の先行きがますます不透明となっております。

食品業界におきましては、コロナ禍における新しい生活様式に基づく消費者需要の変化への対応が求められているなか、エネルギー価格や原材料価格の先行き不透明感、新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない不安感、物価上昇に伴うお客さまの節約志向や低価格志向の高まりなど、経営環境は一層厳しさを増してきております。

このような状況の中で、当社では本年6月の製品価格改定の影響もあり、売上高は4,094百万円(前年同四半期比5.8%増)となりましたが、損益面につきましては、原材料価格の高騰や本年3月に完成した佐賀工場の減価償却費が増加したこと等により、営業利益は228百万円(前年同四半期比50.2%減)、経常利益は248百万円(前年同四半期比48.2%減)、四半期純利益は166百万円(前年同四半期比48.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ312百万円減少しました。これは主に現金及び預金が231百万円増加したものの、未収消費税等が388百万円、減価償却等により有形固定資産が146百万円減少したこと等によるものであります。

また、負債は、前事業年度末に比べ366百万円減少しました。これは主に未払金が244百万円、長期借入金が144百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月11日に公表しました業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	758,520	989,978
受取手形及び売掛金	2,443,073	2,375,463
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	288,669	332,275
仕掛品	64,112	49,010
原材料及び貯蔵品	80,722	93,185
その他	521,994	139,741
流動資産合計	4,657,093	4,479,656
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,656,595	3,564,700
機械及び装置(純額)	1,936,785	1,899,029
土地	1,616,618	1,616,618
建設仮勘定	148	—
その他(純額)	277,643	261,074
有形固定資産合計	7,487,791	7,341,423
無形固定資産	202,339	226,482
投資その他の資産		
投資有価証券	708,516	687,132
その他	130,746	139,754
投資その他の資産合計	839,262	826,886
固定資産合計	8,529,394	8,394,792
資産合計	13,186,487	12,874,449

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,051,435	1,049,057
1年内返済予定の長期借入金	288,000	288,000
未払金	717,542	472,649
未払法人税等	114,211	100,040
賞与引当金	86,881	116,999
その他	75,104	104,985
流動負債合計	2,333,175	2,131,731
固定負債		
長期借入金	1,544,000	1,400,000
繰延税金負債	72,030	64,545
退職給付引当金	135,896	142,647
役員退職慰労引当金	46,927	30,568
資産除去債務	7,777	7,777
その他	24,909	20,900
固定負債合計	1,831,541	1,666,439
負債合計	4,164,717	3,798,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,989,630	1,989,630
資本剰余金	1,989,711	1,989,711
利益剰余金	4,831,783	4,902,252
自己株式	△32,515	△32,515
株主資本合計	8,778,609	8,849,078
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	243,161	227,199
評価・換算差額等合計	243,161	227,199
純資産合計	9,021,770	9,076,277
負債純資産合計	13,186,487	12,874,449

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,868,315	4,094,394
売上原価	2,445,103	2,816,339
売上総利益	1,423,212	1,278,055
販売費及び一般管理費	962,981	1,049,064
営業利益	460,231	228,990
営業外収益		
受取利息	136	51
受取配当金	8,090	9,592
その他	11,618	12,237
営業外収益合計	19,845	21,881
営業外費用		
支払利息	392	2,096
その他	72	278
営業外費用合計	465	2,374
経常利益	479,611	248,497
特別損失		
固定資産除却損	533	—
投資有価証券評価損	6,354	—
特別損失合計	6,887	—
税引前四半期純利益	472,724	248,497
法人税、住民税及び事業税	153,635	82,800
法人税等調整額	△2,843	△312
法人税等合計	150,791	82,488
四半期純利益	321,932	166,009

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、従来、定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用しておりましたが、第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

高品質でコスト競争力のある製品を中心とした経営戦略のもと、当社の事業計画の柱である佐賀工場の本格稼働という内部環境の変化を契機として減価償却方法を再検討した結果、これまでの実績や使用状況及び将来の使用計画等から今後生産設備が長期にわたり安定的に稼働すると見込まれることから、耐用年数にわたり均等に費用配分することが当社の実態をより適切に表すと判断したことによるものであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ87,872千円増加しております。

(セグメント情報)

当社は食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

販売品目別販売実績

(単位：千円、単位未満切捨)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
棒ラーメン	1,331,274	34.4	1,338,717	32.7	7,442	0.6
皿うどん	1,127,224	29.1	1,179,797	28.8	52,572	4.7
カップめん	1,165,368	30.1	1,274,530	31.1	109,162	9.4
袋めん	222,767	5.8	288,315	7.1	65,547	29.4
その他	21,680	0.6	13,033	0.3	△8,646	△39.9
合計	3,868,315	100.0	4,094,394	100.0	226,078	5.8